

ヤングケアラー 学校関係者向けアンケート調査

調査概要

【調査目的】

本調査は、日頃子どもと接する時間の長い市内の学校関係者を対象に、職務や諸活動を通じて、把握されている状況などについてうかがい、今後のヤングケアラーへの支援体制検討のための参考とするために実施する。

【調査方法】

(1) 調査対象

市内小中学校及び義務教育学校の教職員等、学校関係者

(2) 調査機関

令和8年9月14日（月） ～ 10月23日（金）

(3) 調査方法

市内小中学校及び義務教育学校を通じて調査票二次元コードを配布

【調査内容】

◆教員のみなさまへ◆

ご回答いただくアンケートの内容は下記の通りです。

こちらは見本用のアンケートであり、実際にはスマートフォンやタブレット、パソコンからWEB上の回答フォームにアクセスし、ご回答いただきます。設問内容は変わりませんが、実際の画面上のデザインは異なります。

◆アンケートのご回答について◆

- ① この調査に同意し、ご協力してくださる場合のみ、アンケートにご回答ください。アンケートへのご回答をもって、この調査に同意していただいたものと判断させていただきます。
- ② ご回答は、選択肢を選ぶ場合と、数字や具体的な内容をご入力いただく場合があります。設問の注意書きにしたがってご回答ください。
- ③ ご回答されたくない質問はご回答なさらずに、次の質問に進んでください。
- ④ ご回答内容はすべて統計的に処理をしますので、あなたのご回答が特定されたり、外部に知られたりすることはありませんので、安心してご回答ください。

質問票(案)

①基本情報について伺います

1.あなたの性別についてお知らせください。(あてはまるもの1つに☑してください)

☐男性 ☐女性 ☐回答したくない

2.あなたの年齢層をお知らせください。(あてはまるもの1つに☑してください)

☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代以上

3-1.現在あなたが勤務している学校についてお知らせください。(あてはまるものに☑してください)

☐小学校 ☐中学校

3-2.現在あなたが担当している学級・教室の種別についてお知らせください。(あてはまるもの1つに☑してください)

☐通常学級 ☐特別支援学級 ☐サポートルーム ☐その他

4.あなたの職名を教えてください。

☐校長 ☐教頭 ☐教諭(主幹教諭・主任教諭含む) ☐養護教諭 ☐スクールソーシャルワーカー
☐スクールカウンセラー ☐指導主事 ☐その他

5.あなたの職歴(SSW・SCの方は経験年数)を教えてください。

☐1年未満
☐1年～5年未満
☐5年～10年未満
☐10年～20年未満
☐20年～30年未満
☐30年～40年未満
☐40年以上

6.あなたは今年度担任をもっていますか。

☐持っている
☐持っていない

②「ヤングケアラー」について伺います

7.あなたは「ヤングケアラー」についてご存じですか。(あてはまるもの1つに☑してください)

☐言葉も聞いたことがない

- ☐言葉は聞いたことがあるが、具体的な内容は知らない
- ☐言葉は知っているが、特別な対応はしていない
- ☐言葉を知っており、意識して対応している

「ヤングケアラー」とは、一般的に「本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子ども」のことをいいます。このイラストは、子どもたちがしているケアのタイプを示しています。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守り・声かけ・気づかいなどの情緒的ケアをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



障がいや病気のある家族に代わり、家計を支えるために働いている。



精神疾患やアルコール・薬物・ギャンブルなどの問題を抱える家族の情緒的ケアや周囲との調整などを行っている。



がん・難病のほか慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

③現在、担任をしている先生に伺います

8-1. 現在（今年度）、あなたが担任をしているの児童・生徒の中でヤングケアラーと思われる子どもはいますか。

- ☐いる
- ☐いない
- ☐わからない

8-1-1. 7-1で「いる」と答えた方に伺います。今年度あなたが担任している児童・生徒の中でヤングケアラーとみられる子どもは何人いますか。

(人)

8-1-2. 7-1-1の児童・生徒の中に、学校生活に影響が出ている子どもはいますか。

- ☐いる
- ☐いない

8-2. 8-1-2で「いる」と回答した方に伺います。その児童・生徒は学校生活にどのような影響が出ていますか。（あてはまるものすべてに☑をしてください。）

- ☐ 学校を休みがちである
- ☐ 遅刻や早退が多い
- ☐ 授業中、居眠りが多い
- ☐ 友達というよりも、一人で過ごしていることが多い
- ☐ 保健室で過ごしていることが多い
- ☐ 精神的な不安定さがある
- ☐ 身だしなみが整っていない
- ☐ 学力が低下している
- ☐ 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- ☐ 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- ☐ 学校に必要なものを用意してもらえない
- ☐ 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- ☐ 校納金等が遅れる、未払い
- ☐ その他

④現在、担任をしていない教職員に伺います

9-1. 自分が担任をしていない子どもの中でヤングケアラーと思われる子どもはいますか。

- ☐ いる
- ☐ いない
- ☐ わからない

9-1-2. 8-1で「いる」と答えた児童・生徒の中に、学校生活に影響が出ている子どもはいますか。

- ☐ いる
- ☐ いない

9-2 8-1-2で「いる」と回答した方に伺います。その児童・生徒は学校生活にどのような影響が出ていますか。（あてはまるものすべてに☑をしてください。）

- ☐ 学校を休みがちである
- ☐ 遅刻や早退が多い
- ☐ 授業中、居眠りが多い
- ☐ 友達というよりも、一人で過ごしていることが多い
- ☐ 保健室で過ごしていることが多い
- ☐ 精神的な不安定さがある
- ☐ 身だしなみが整っていない
- ☐ 学力が低下している
- ☐ 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- ☐ 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- ☐ 学校に必要なものを用意してもらえない

- ☐ 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- ☐ 校納金等が遅れる、未払い
- ☐ その他

⑤R6年度・7年度に関わっていた子どもについて伺います

10-1. 過去2年間に、あなたが関わっていた児童・生徒の中で、ヤングケアラーと思われる子どもはいましたか。

- ☐ いた
- ☐ いない
- ☐ わからない

10-1-2. 10-1の児童・生徒の中に、学校生活に影響が出ていた子どもはいましたか。

- ☐ いた
- ☐ いない

10-2. 10-1-2で「いた」と回答した方に伺います。その児童・生徒は学校生活にどのような影響が出ていましたか。(あてはまるものすべてに☑をしてください。)

- ☐ 学校は休みがちである
- ☐ 遅刻や早退が多い
- ☐ 授業中、居眠りが多い
- ☐ 友達というよりも、一人で過ごしていることが多い
- ☐ 保健室で過ごしていることが多い
- ☐ 精神的な不安定さがある
- ☐ 身だしなみが整っていない
- ☐ 学力が低下している
- ☐ 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- ☐ 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- ☐ 学校に必要なものを用意してもらえない
- ☐ 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- ☐ 校納金等が遅れる、未払い
- ☐ その他

⑥最も注視している(印象に残っている)子どもについて伺います

11. 8-1, 9-1, 10-1で「いる」「いた」と回答いただいた中で、最も印象的な児童・生徒について伺います。その児童・生徒は、何年生ですか(過去の場合は、その時何年生でしたか)。

- ☐ 小学校低学年(1年～3年)
- ☐ 小学校高学年(4年～6年)

☐中学生

11-1. その児童・生徒の家族構成について教えてください(あてはまるもの1つに☑してください)。

- ☐ひとり親家庭(母子) ☐ひとり親家庭(父子)
☐ふたり親家庭(祖父母同居なし) ☐ふたり親家庭(祖父母同居)
☐祖父母と子どものみ(場合によっては他の親戚が同居するものも含む)
☐わからない
☐その他(自由記述)

11-2. その児童・生徒の家族の中でケアを必要としている人は誰ですか。(あてはまるもの全てに☑してください)

- ☐母親 ☐父親 ☐きょうだい ☐祖母 ☐祖父 ☐わからない
☐その他(自由記述)

11-3. その児童・生徒がケアをしている人はどのような状態にありますか(ありましたか)。(あてはまるもの全てに☑してください)

- ☐高齢※65歳以上
☐年下の兄弟姉妹で幼い
☐要介護 ※介護が必要な状態
☐認知症
☐身体障がい
☐知的障がい
☐視覚障害・聴覚障害
☐精神疾患 ※疑い含む
☐依存症 ※アルコール依存症、ギャンブル依存症など※疑い含む
☐精神疾患・依存症以外の慢性的な病気
☐日本語を第一言語としない
☐わからない
☐その他(自由記述)

11-4. その児童・生徒が行っている(行っていた)ケアは何ですか。(あてはまるもの全てに☑してください)

- ☐家事(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている
☐きょうだいの世話や保育所等への送迎などをしている
☐身体的な介護(入浴やトイレの世話など)をしている
☐外出の付き添い(買い物、散歩など)をしている
☐通院の付き添いをしている
☐見守りや声かけをしている
☐感情面のサポートをしている(愚痴を聞く、話し相手になるなど)
☐通訳をしている(日本語や手話など)
☐アルコール・薬物・ギャンブル問題をかかえる家族に対応している
☐金銭管理をしている
☐医療的な世話(薬の管理、たんの吸引など)をしている
☐わからない
☐その他

11-5. その児童・生徒が家族等をケアしていること(していたこと)に、どのようにして気づきましたか。(あてはまるものに☑してください)

- ☐ その児童・生徒本人との会話から
- ☐ その児童・生徒の保護者や家族との会話から
- ☐ その児童・生徒の友人、クラスメイトの話から
- ☐ 家庭訪問・面談から
- ☐ 他の教職員の話から(校内会議含む)
- ☐ 学校外の保育所・小学校・中学校や他の関係機関からの引継ぎなど
- ☐ 学校生活への影響から
- ☐ その他(自由記載)

11-6. その児童・生徒はどのくらいの期間、家族のケアをしているか(していたか)知っていますか。(あてはまるものに☑してください)

- ☐ 知っている
- ☐ 知らない

11-6-1. その児童・生徒がケアを行っていた期間を「知っている」と答えた方に伺います。その期間はどのくらいですか(でしたか)。(あてはまるものに☑してください)

- ☐ 1年未満
- ☐ 1年以上～2年未満
- ☐ 2年以上～3年未満
- ☐ 3年以上～5年未満
- ☐ 5年以上～10年未満
- ☐ 10年以上

11-7. その児童・生徒のほかに、その家族を支援している人はいますか(いましたか)。(あてはまるものに☑してください)

- ☐ いる
- ☐ いない
- ☐ わからない

11-7-1. その児童・生徒を含めて、その家庭を支援している(していた)人を、ご存じの範囲でお答えください。(あてはまるもの全てに☑をしてください)

- ☐ 家族・親戚
- ☐ 近隣・ボランティア
- ☐ 介護保険サービス・自立支援サービスのホームヘルパー
- ☐ 医療機関(訪問診療・訪問看護含む)
- ☐ 介護保険サービスのデイサービス・ショートステイなど
- ☐ 民生委員・児童委員

- ☐ 児童相談所・こども家庭センター
- ☐ その他（自由記述）

11-8.その児童・生徒の学校生活への影響について、お気づきになったことはありますか（ありましたか）。（あてはまるもの全てに☑してください）

- ☐ 学校や行事、イベントを休みがちである
- ☐ 学校や行事、イベントに遅刻や早退が多い
- ☐ 保健室で過ごしていることが多い
- ☐ 精神的な不安定さがある、イライラしている、モチベーションが低下している
- ☐ 長期の不登校
- ☐ 身だしなみが気になる（衛生面、服装がいつも同じ、衣類が汚れている、サイズが合わない服を着ている等）
- ☐ 授業中に居眠りをしている、学習に身が入らない
- ☐ 宿題を忘れがち、学力が低下している
- ☐ 持ち物の忘れ物が多い、持ち物が揃わないことがよくある
- ☐ 必要な書類などの提出遅れや提出忘れが多い
- ☐ クラブ活動に参加できていない、もしくは部活を途中でやめてしまった
- ☐ 友達やクラスメイトとの関係を十分に築けない／関係がよくない
- ☐ 校納金などの支払いが遅れる、未払い
- ☐ 朝食を食べてこない、食事をとれていない、お弁当を作ってもらえない
- ☐ その他（自由記述）

11-9.その状況にあなたがどのように対応したかを教えてください。

- ☐ 関係機関との連携（児童相談所・こども家庭センター・民生児童委員・こども家庭センターなど）
- ☐ 保護者・本人への対応（スクールカウンセラー・話を聞く・宿題の量の調整など）
- ☐ 校内での対応（校内委員会での情報共有、校内での支援体制、管理職への報告など）
- ☐ 対応できなかった

11-10.その時にあなたが相談できる相手や場所がありましたか。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

11-11.その時に学校以外の機関との連携はありますか。

- ☐ あった
- ☐ なかった ➡ 12へ

11-11-1.「あった」と答えた方に伺います。どのような機関と連携がありましたか。（あてはまるもの全てに☑してください）

- ☐ 市子ども子育て課（児童福祉部門・こども家庭センターなど）
- ☐ 市介護福祉課（在宅介護支援センター・地域包括支援センターなど）
- ☐ 市福祉課（障害福祉部門、生活保護部門など）

- ☐教育・保育部門（教育委員会・きょうだい児の学校・保育所・幼稚園など）
☐社会福祉協議会
☐児童相談所
☐医療部門（市健康増進課、病院、診療所など）
☐兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口
☐その他（ ）

⑦ヤングケアラーの支援について伺います

12.ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことはどのようなことですか。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- ☐子ども自身がヤングケアラーについて知ること
- ☐保護者がヤングケアラーについて知ること
- ☐教職員がヤングケアラーについて知ること
- ☐学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
- ☐SSW（スクールソーシャルワーカー）やSC（スクールカウンセラー）などの専門職の配置が充実すること
- ☐子どもが教職員に相談しやすい関係をつくること
- ☐個別のケースに関する校内の検討体制・情報共有の機会をつくること
- ☐学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
- ☐学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
- ☐ヤングケアラーを支援する民間団体が増えること
- ☐福祉と教育の連携を進めること⇒10-1へ
- ☐その他（自由記載）
- ☐特にない

12-1.あなたが教職員としてできると思うサポートや役立つと思う支援についてお答えください。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- ☐ 本人・保護者へのサポート
☐ 関係機関との連携
☐ 校内での支援
☐ その他（自由記載）

アンケートにご協力ありがとうございました。

＜洲本市こども家庭センター・教育委員会＞